

機動的な学習指導を目指したICT教材について

熊本県立湧心館高等学校 西村 信一

1 これまでの取り組み

平成12年にICT事業に必要なインフラが整備されたことにより、県立工業高校を中心に進路情報の共有化に向けた取り組みが始まった。中でも熊本県工業高等学校進学指導連絡協議会(工進連)が中心となり専用のサイトを立ち上げる。進路情報の電子文書化(PDF)および管理は、平成15年度まで同会の事務局であった球磨工業高校が担当する。その後、湧心館高校(H16~H20)、熊本工業高校(H21~H23)、玉名工業高校(H24~H29)、本年度は湧心館高校が担当している。サイトに掲載している内容については、次のとおりである。

1. 大学・高専・専門学校の英語・数学・専門教科(工業)の過去問と解答
2. 工進連模試(英語・数学)
3. 就職試験問題(数学)、公務員試験過去問
4. 工業高校生用の英語教本¹・数学問題集
5. 初学者用の数学I・II・III・A・B・Cの教材(教科書と解答書)
6. センター試験問題(英語筆記・リスニング)

平成18年(2006年)、県教委から文部科学省が推進するICT活用に関する調査研究への参加・協力を委託され、『教師が授業で活用でき、生徒も各自で学習できるICT教材』の作成を目指した。

センター試験でリスニング試験が導入された年でもあり、ICT活用の観点から、センター試験のリスニング問題および発音・アクセント問題(筆記)のICT教材の作成に取り組む。また、PDF文書の辞書機能(ポップアップ機能)に注目し、県内の大学・短大・医療系専門学校の入試問題(英語)について電子文書化(PDF)を推進する(H18~H21)。

<http://kumamoto.s12.xrea.com/plan/eng.html>

2 現在の取り組み

県教委から委託されたICT活用に関する調査研究事業の終了後、センター試験のリスニング問題、発音・アクセント(筆記)、熊本大学入試問題については継続することとした。現在、九州大学入試問題についてもICT教材として作成している。これらは次のサイトから入手することができる。

<http://kumamoto.s12.xrea.com/lis.html>

以前のリスニングの指導においては、問題・音声・スクリプト・和訳・解説など、その準備も多岐に亘り、音声を流す際にプレイヤーの操作にも注意しながら指導する状況にあった。そうした状況を解消するため、これらを1つのコンテンツとして使用できるICT教材の作成を目指した。大学入試センターが公開しているPDF(問題)にスクリプト・和訳・解説を付けリンクを貼った。また問題ごとに音声をトリミングし、問題につけたアイコン(スピーカー)をクリックするとその部分の音声だけを流すプレイヤーが起動するようにした。音声ファイルはPDF内に埋め込まれているため、オフライン(インターネットが接続されていない状態)でも使用できる。

発音・アクセント(筆記)については、平成2年(1990年)~平成30年(2018年)の本試験・追試験問題を同サイトにすべて掲載している。これらのPDFファイルも単語や発音記号をクリックすると音声が出る。同様に音声ファイルがPDF内に埋め込まれているため、オフラインでも使用できる。

3 終りに

今回の研究報告により多くの先生方の目に触れることとなった。識者の達眼に晒されながら内容は鍛錬され、今後さらにその完成度を高めていくものと確信する。

¹荒木指導主事は解答および英語教本の作成に尽力。